

暑さに負けず

～ 最近の学校生活から ～

残暑厳しい毎日ですが、子どもたちは汗をかきながら、勉強に運動に遊びにとがんばっています。

夏休みの充実ぶりが感じられる学校です！



今週はプール参観週間で、1シーズンの成果をご覧いただきました。1・2年生は、水に慣れ、楽しく水遊びができました。3・4年生は、大プールで息継ぎができるようになりました。5・6年生は、得意な泳ぎ方でタイムを縮めました。暑い中ご参観いただき、ありがとうございました。



校内のあちらこちらで夏休み作品展が開かれています。各クラスでは、一人ひとり夏休み中の学習の成果を発表し、お互いのがんばりを認め合いました。ご家庭でのご指導に感謝です。

21日間の夏休みはあっという間でしたが、子どもたちはたくましく成長し、2学期をスタートすることができました。子どもたちは、それを先生や友達に認められたくてたまりません。学校では、一人ひとりの成長を丁寧に認めて、よい評価を返してあげることが大切だと考えています。

実りの学期の二学期が動き出しました！



25日の全校体育では、体育館で校歌ダンスの練習。9月からは、運動会に向けた生活です。

2学期は、運動会、音楽会など、大きな行事があります。この長い2学期を乗り切るためには、学年・学級の団結を高めていくことです。

「こころ」はだれにも見えないけれど「こころづかい」は見える。「思い」は見えないけれど「思いやり」はだれにでも見える。みんなが支え合う温かな学年・学級でありたいものだと思います。



夏休みの水やり、ご苦労様でした。厳しい暑さにも負けず、花壇には、きれいな花が咲きました。



よろしく
お願いします！

養護教諭実習
(8/23～9/10)
本校卒業生
大口 静さん

中学生が近づき、思春期や反抗期がくると、身体の成長に心の成長が追いつかず、ちょっとしたことで有頂天になったり深く傷ついたりします。また、異性や性への関心が高まる、自我が強まり親や教師がうっとうしくなる、秘密をもつ等、成長という変化の中で心が最も不安定になります。発達障害のある子どもにとっても、この時期をうまく過ごすことが、重要になります。



思春期は親離れのとき



子どもが言うことを聞かなくなっても、いたずらに動揺したり抑えついたりする必要はありません。子どもの自立や親離れが始まった証拠です。むやみに干渉し過ぎず、子どもの力を信じてあたたかく見守りましょう。

しかし、それは腫れ物にさわるような接し方とは違います。冷静に子どもの姿を見つめ、常に会話を重ね、成長とともに喜ぶ努力をしましょう。

親との関係：中学校になると、親はいつも子どもの近くにいて手を差し伸べてあげる存在から、子どもの成長を信じ見守る存在へと、関係が変化していきます。今のうちから、注意をしたり、あれこれ手を出したりするばかりでなく、子ども自身が自分で決めて、責任をもってやってみる経験を増やしていきます。また、ゆっくりと話をする時間を持ち、ときには助言をしたり相談に乗ったりして、信頼関係を築いていく時期でもあります。子どもとしてばかりでなく、同じ大人としての扱いをしていくことが必要です。

友達との関係：中学生になると、友達関係の幅も広がります。先輩との関係も生まれます。友達とのつき合い方に難しさを感じ、悩む時期です。しかし、友達とのさまざまな経験が、自分を見つめ直し、大きな成長のきっかけとなります。よい友達をつくるには、本音を語り、ときにはよきライバルとなったり悪いところは指摘したりして、お互いの成長を助け合うことです。友達のよさを認め、身近な目標とすることができるようになると、人間関係も円滑になります。

自分との関係：自意識が著しく発達する時期になります。「人の目から見える自分」を気かけ、はにかみや、ときには悪ぶりも見られるようになります。そんなとき「自分はやっぱり認められている」と思えるように、声をかけてあげてください。自分としっかり向き合い、自分を高めていってほしいものです。

